

米国における ウィンターオーバーシーディングについて

2026年4月21日

第7回バミューダ研究会

株式会社ヒューエンタープライズ
田中裕敏

ウィンターオーバーシード (WOS)とは

- 暖地型芝に寒地型芝生をオーバーシードする
- 同一種芝にする場合は「インターシーディング」（例：ベント⇒ベント）

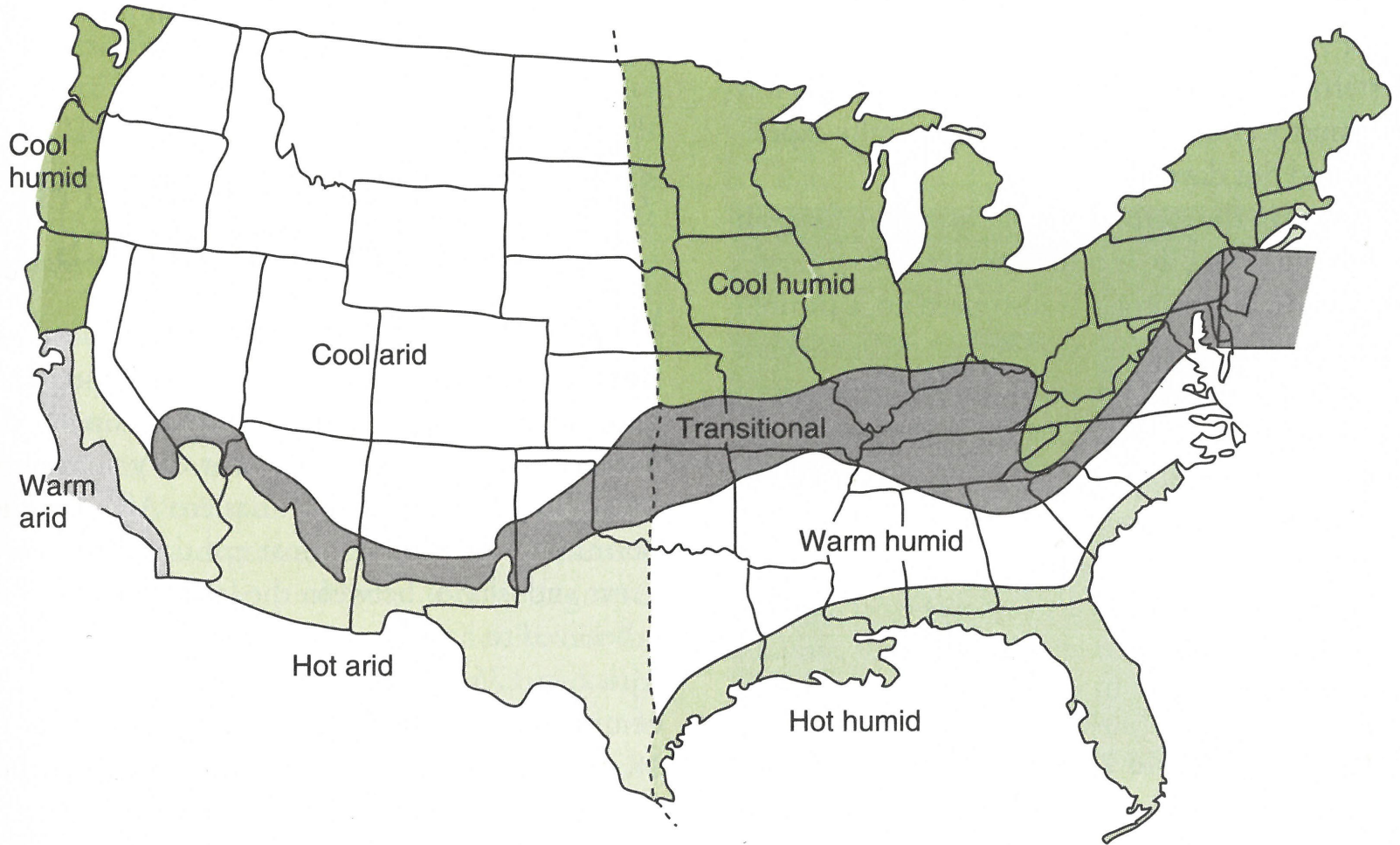
WOSの目的

- 冬季間に暖地型芝が休眠することによるターフクオリティの維持
- 高付加価値化
- 冬場の擦切れ対策

WOSの方法・考え方

- エリアごとに違う
- コースごとに違う

エリアごとに違う



エリアごとに違う

- WOSは基本的に暖地型エリア
- トランジッションゾーンは難易度高い
- 暖地型エリア以外は着色

コースごとに違う

- プレーフィー
- ハイエンド⇔ローエンド
- メンバーの要求
- 管理レベルの違い
- 冬場の売上が高い

コースのセグメント

- メンバーシップ
- リゾート
- レジデンス
- ムニシパル

コストの違い

- 着色か、WOSか
- グリーンだけ
- +ティー
- +フェアウエー
- +ラフ
- 1コースで10t+の種

WOSの問題点

- 播種時の作業工程
- 播種後の作業工程（洋芝管理）
- トランジッション時の工程
- 雑草（カタビラ）の侵入

播種時の工程

- ベースのティフトンの処理
 - 低刈り・バーチカル・播種・目砂
 - PGR
 - 施肥
 - 2週間程度のクローズ期間
 - 作業時期

播種後の工程

- 刈込・目砂
- PGR
- 施肥
- 雑草対策

トランジッション時の工程

- 最も難しいポイント
- 気候によって寒地型が残ってしまいバミューダの生育に障害が出る
- うまくいかないとマダラになる
- 除草剤、意図的肥料焼け、強いバーチカル、極低刈りなどの工夫と組み合わせ
- 暑さに弱い寒地型の選択

寒地型芝の選択

(暑さに強い順)

- クリーピングベントグラス (Creeping Bentgrass)
- ペレニアルライグラス (Perennial Ryegrass)
- インターメディアートライグラス (Intermediate Ryegrass)
- イタリアンライグラス (Annual Ryegrass)
- ラフブルーグラス (大スズメのカタバシラ)
) (Poa Trivialis)

クリーピングベントグラス

Agrostis stolonifera

- 主にグリーン
- パッティングクオリティーは最も良い
- 最大の問題点はトランジッション
- 10g（グリーン）

ペレニアルライグラス

Lolium perenne

- グリーンを含む各所
- 色上りも良く最も選ばれる選択
- ベントに次いでトランジッションが難しくなる
- 特にグリーンでは難しい
- ライグラス系の中では値段が一番高い
- 150~200 g (グリーン) 60+ g (FW)



インターメディアートライグラス

Lolium hybridum

- ペレニアルライグラスよりトランジッションはし易い
- PRよりクオリティーは低い
- イタリアンライグラスよりはクオリティーは高い
- ペレニアルライグラスより値段が安い

イタリアンライグラス (アニュアルライグラス) Lolium multiflorum

- トランジッションはライグラス系の中では一番トランジッションし易い
- クオリティーは一番低い
- 値段は一番低い

ラフブルーグラス

Poa trivialis

- トランジッションは最もしやすい
- 単価は高いが種が小さいので播種量は少ない
- 単播、他のライグラス系などとの混合

種子混合

- コースや気候条件によって前出の品種を混合する
- 種子の大きさが違うので対応が必要

WOSの他の問題

- ライグラス種子に混入する「カタビラ」
- 除草剤の処理が難しい
- 唯一の可決策は『マックワンフロアブル』

Thank You

